

(様式第 9)

新大医歯病医第 103 号
平成 22 年 10 月 5 日

関東信越厚生局長 殿

開設者名 (管理者名)
病院長 内山

新潟大学医歯学総合病院の業務に関する報告について

標記について、医療法 (昭和 23 年法律第 205 号) 第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 21 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	87人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	491人	14.7人	505.7人	看護補助者	14人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	195人	0人	195.0人	理学療法士	10人	臨床検査技師	71人
薬剤師	45人	0人	45.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	6人	その他	2人
助産師	31人	0人	31.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	717人	15.3人	732.3人	臨床工学技士	10人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	2人	3.3人	5.3人	栄養士	0人	その他の技術員	23人
歯科衛生士	12人	3.2人	15.2人	歯科技工士	6人	事務職員	142人
管理栄養士	5人	0人	5.0人	診療放射線技師	39人	その他の職員	13人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	700.4人	31.2人	731.6人
1日当たり平均外来患者数	1464.2人	574.5人	2038.7人
1日当たり平均調剤数			1286.9剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インプラント義歯	5人
光学印象採取による陶材歯冠修復法	19人
骨髄細胞移植による血管新生療法	0人
超音波骨折療法	0人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	6人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	3人
胎児心超音波検査	17人
顎関節症の補綴学的治療	0人
腹腔鏡下肝部分切除術	5人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	52人
カフェイン併用化学療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	118人	・膿疱性乾癬	9人
・多発性硬化症	87人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・重症筋無力症	149人	・原発性胆汁性肝硬変	67人
・全身性エリテマトーデス	403人	・重症急性膵炎	6人
・スモン	10人	・特発性大腿骨頭壊死症	104人
・再生不良性貧血	37人	・混合性結合組織病	53人
・サルコイドーシス	220人	・原発性免疫不全症候群	7人
・筋萎縮性側索硬化症	77人	・特発性間質性肺炎	25人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	320人	・網膜色素変性症	74人
・特発性血小板減少性紫斑病	71人	・プリオン病	6人
・結節性動脈周囲炎	41人	・肺動脈性肺高血圧症	16人
・潰瘍性大腸炎	320人	・神経線維腫症	44人
・大動脈炎症候群	53人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	27人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	5人
・天疱瘡	61人	・慢性血栓性肺高血圧症	3人
・脊髄小脳変性症	129人	・ライソゾーム病	14人
・クローン病	123人	・副腎白質ジストロフィー	5人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	7人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1人
・悪性関節リウマチ	8人	・脊髄性筋萎縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	161人	・球脊髄性筋萎縮症	4人
・アミロイドーシス	18人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	4人
・後縦靭帯骨化症	85人	・肥大型心筋症	2人
・ハンチントン病	3人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	114人	・ミトコンドリア病	2人
・ウェゲナー肉芽腫症	16人	・リンパ管筋腫症(LAM)	2人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	90人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	68人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	30人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・胎児心エコー法	・
・腹腔鏡下肝切除術	・
・センチネルリンパ節生検	・
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・手術時歯根面レーザー応用加算	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	13件
部 検 の 状 況	部検症例数 25例 / 部検率 6.79%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究代表者	所属	金額	補助元又は委託元
アジアロエリスロポエチンを用いた心血管系再生医療の前臨床基盤研究	鳥羽 健	第一内科	2,210,000	補・委 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C)
重症下肢虚血性患者に対する体外増幅赤芽球移植による血管新生治療の有効性の検討	小澤 拓也	第一内科	1,950,000	補・委 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C)
Brugada症候群の右室流出路伝導異常の検証(リスク階層化への応用)	古嶋 博司	第一内科	4,420,000	補・委 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C)
HAARTの長期的副作用対策・長期予後に関する研究	田邊 嘉也	第二内科	15,300,000	補・委 厚生労働省 科学研究費補助金
糸球体腎炎における新しい機能分子の同定と臨床応用	坂爪 実	第二内科	650,000	補・委 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C)
進行期肺癌に対する抗腫瘍免疫再構成を利用した画期的免疫療法の開発	渡部 聡	第二内科	1,300,000	補・委 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C)
新規素材ハニカム膜を用いた糸球体上皮細胞培養と同細胞における糖鎖付加酵素の役割	竹田 徹朗	第二内科	1,560,000	補・委 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C)
クローン病狭窄症に対するRNA干渉技術を用いた内視鏡的治療法開発	鈴木 健司	第三内科	3,120,000	補・委 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C)
SDF-1の血管再構築能向上作用に基づく肝幹細胞からの効率のよい肝再生を目指して	土屋 淳紀	第三内科	1,820,000	補・委 文部科学省科学 研究費補助金 若手研究(B)
新規抗精神病薬の治療反応性及び副作用予測に関する薬理ゲノム学的研究	鈴木雄太郎	精神科	1,820,000	補・委 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C)
フラクタル解析を用いた自閉脳スクリーニング法の開発	北村 秀明	精神科	910,000	補・委 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C)
統合失調症多発罹患大家系におけるコピー数多型の検索	金子 尚史	精神科	3,770,000	補・委 文部科学省科学 研究費補助金 若手研究(B)
慢性糸球体腎炎の進展機序におけるマクロファージの機能解析	池住 洋平	小児科	1,300,000	補・委 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C)
慢性移植腎症の病態解明と早期診断を目的としたバイオマーカーの開発	鈴木 俊明	小児科	1,300,000	補・委 文部科学省科学 研究費補助金 若手研究(B)
Auto-fluorescence imagingによる新たな肝腫瘍描出法の開発	皆川 昌弘	第一外科	2,000,000	補・委 科学技術振興機構
2型肺上皮再生と肺胞マクロファージ抑制を介した新しい急性肺障害治療法の開発	土田 正則	第二外科	3,640,000	補・委 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C)
新たな神経可塑性の検討と可塑性を考慮した末梢神経修復成績向上への研究	柴田 実	形成外科	6,760,000	補・委 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(B)
高倍率手術用立体視モニター付き双眼前ルーペの開発	柴田 実	形成外科	3,100,000	補・委 日本学術振興会 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究

研究課題名	研究代表者	所属	金額	補助元又は委託元
転写因子ATBF1の前立腺癌細胞内局在の分子機構の解明と前立腺癌予後診断への応用	原 昇	泌尿器科	1,950,000	補・委 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
音響外傷後の創傷治癒過程における蝸牛内サイトカイン発現	佐藤 邦広	耳鼻咽喉科	650,000	補・委 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
音響暴露における内耳免疫応答の検討	宮尾 益道	耳鼻咽喉科	1,300,000	補・委 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
嗅神経細の再生、および再生母細胞に関する組織学的研究	野村 智幸	耳鼻咽喉科	1,339,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金若手研究(ｽｸ-1777)
不妊症患者の実態と生殖補助医療技術による妊孕症の向上に関する研究	田中 憲一	産科婦人科	972,000	補・委 新潟県
局所麻酔薬の脊髄における興奮性伝達に対する制御作用	古谷 健太	麻酔科	1,820,000	補・委 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
モルヒネ耐性形成後の $\alpha 2$ 受容体作動薬による鎮痛作用機序の解明	石井 秀明	麻酔科	1,560,000	補・委 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
オピオイドの脊髄虚血に対する神経保護効果の電気生理学的解析	本田 博之	麻酔科	1,820,000	補・委 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
悪性神経膠腫における天然化合物を用いたオートファジーの誘導と薬剤耐性の克服	青木 洋	脳神経外科	1,300,000	補・委 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
ヒト脳腫瘍サンプルにおけるオートファジーモニタリングと組織学的検討	棗田 学	脳神経外科	2,080,000	補・委 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
神経難病患者に対する医療ネットワーク体制と療養支援体制設備の構築に関する研究	西澤 正豊	神経内科	6,094,200	補・委 新潟県
粘膜免疫から多発性硬化症の病態制御因子を探索する	河内 泉	神経内科	1,690,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
消化管神経変性の病態解明：環境に近接する神経系へのアプローチ	小澤 鉄太郎	神経内科	2,860,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
血栓溶解療法と新規神経保護薬リチウム	高橋 哲也	神経内科	1,365,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金若手研究(ｽｸ-1777)
アルツハイマー病・異常リン酸化タウ蓄積におけるインスリンシグナル伝達障害の関与	春日 健作	神経内科	1,365,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金若手研究(ｽｸ-1777)
HTRAIによるTGF- β ファミリーシグナルの伝達抑制機構の解明	野崎 洋明	神経内科	1,365,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金若手研究(ｽｸ-1777)
神経ステロイドと脊髄鎮痛	生駒 美穂	手術部	2,080,000	補・委 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)
胆管癌における53BP1を介したDNA損傷修復機構の解明及びその臨床的意義	若井 俊文	物流センター	1,950,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
家族性乳癌卵巣癌の発症に関与する原因遺伝子の同定	関根 正幸	周産母子センター	910,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)
若年婦人子宮頸癌発症要因としての喫煙に関する調査研究	西野 幸治	周産母子センター	2,340,000	補・委 文部科学省科学研究費補助金若手研究(B)

研究課題名	研究代表者	所属	金額	補助元又は委託元
アスリートを対象とした運動誘発性喘息の診断とその治療効果	鈴木 榮一	医科総合診療部	650,000	補・委 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C)
培養細胞シートの長期不凍結保存技術の開発	中田 光	生命科学医療センター	2,750,000	補・委 科学技術振興機構
シロリムスによるリンパ脈管筋腫症の第Ⅲ相国際共同臨床試験: MILES trial	中田 光	生命科学医療センター	64,803,000	補・委 厚生労働省 科学研究費補助金
特発性肺蛋白症における免疫変容の体系的研究	中田 光	生命科学医療センター	2,730,000	補・委 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(B)
末梢血循環腫瘍細胞を用いた肺癌術後再発予測・オーダーメイド治療の開発	吉澤 弘久	生命科学医療センター	1,820,000	補・委 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C)
GM-CSF中和能の新規アッセイ法の確立	中田 光	生命科学医療センター	1,600,000	補・委 日本学術振興会 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
電子カルテからのダイレクトリスマイニングの試み	鳥谷部 真一	危機管理室	4,290,000	補・委 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(B)
インテグリン遺伝子発現定量を用いた口腔癌体外診断法の開発	永田 昌毅	顎顔面外科診療室	2,000,000	補・委 科学技術振興機構
口腔癌のMultigene精密診断への重回帰モデルの応用	永田 昌毅	顎顔面外科診療室	1,170,000	補・委 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C)
口腔粘膜癌におけるケラチン発現プロフィールを制御する分子機構	小林 孝憲	顎顔面外科診療室	1,820,000	補・委 文部科学省科学 研究費補助金 若手研究(B)
ストレスが顎関節滑膜表層細胞の分化とカベオラ形成に与える影響	庭野 将広	顎顔面外科診療室	1,950,000	補・委 文部科学省科学 研究費補助金 若手研究(B)
凍結培養細胞を用いた培養複合口腔粘膜の治癒機転を解明する	小山 貴寛	顎顔面外科診療室	1,040,000	補・委 文部科学省科学 研究費補助金 若手研究(B)
P53ノックアウトマウスを用いた新規口唇口蓋裂感受性遺伝子の検索	児玉 泰光	顎顔面外科診療室	1,560,000	補・委 文部科学省科学 研究費補助金 若手研究(B)
歯の移植の適応拡大のため、凍結保存歯の歯根膜を有効に再生させる	泉 直也	口腔再建外科診療室	910,000	補・委 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C)
脂肪組織の間葉系幹細胞を用いて組織工学的に作製した培養骨による顎骨再生をめざして	小野 由起子	口腔再建外科診療室	1,040,000	補・委 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C)
口腔粘膜悪性境界病変の診断へのNB Iの応用と上皮内血管配置の病理組織学的裏付け	船山 昭典	口腔再建外科診療室	3,120,000	補・委 文部科学省科学 研究費補助金 若手研究(B)
学童に対するリスク診断に基づく歯肉炎予防管理プログラムの構築	佐久間汐子	予防歯科診療室	780,000	補・委 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C)
2型糖尿病患者の抗動脈硬化に対する抗菌的歯周治療の有用性に関する無作為化比較試験	小川 祐司	予防歯科診療室	1,560,000	補・委 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C)
高齢者の口腔疾患より構築する潜在的 精神疾患のスクリーニングシステムに関する研究	高野 尚子	予防歯科診療室	1,170,000	補・委 文部科学省科学 研究費補助金 若手研究(B)
長期コホートによる口腔内揮発性硫黄化合物の歯周疾患進行に対する影響の検討	山賀 孝之	予防歯科診療室	1,040,000	補・委 文部科学省科学 研究費補助金 若手研究(B)

研究課題名	研究代表者	所属	金額	補助元又は委託元
2型糖尿病患者のアディポネクチン遺伝子多型と歯周病の病態の関連性について	松本 沙耶香	予防歯科診療室	2,470,000	補・委 文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)
自律神経失調による口腔乾燥症における客観的な自律神経機能的評価に関する研究	伊藤 加代子	加齢歯科診療室	780,000	補・委 文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)
Ni-Tiファイルによるレジン系根管充填材除去法の構築:μCT画像解析と力学解析	富田 文仁	歯の診療室	1,950,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)
レーザーを応用したう蝕治療法お確立ー炎症歯髄創傷治癒過程の免疫組織化学的解析ー	吉羽 永子	歯の診療室	910,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)
Mineral trioxide aggregate による直接覆髄後の修復過程	鞍立 桃子	歯の診療室	1,950,000	補・委 文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)
歯の他家移植治療法の基盤となる歯根膜細胞の分化誘導法の確立	大島 邦子	小児歯科診療室	1,430,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)
萌出中の歯の歯根膜における歯根膜線維芽細胞の特異的分子制御メカニズムの解明	飯澤 二葉子	小児歯科診療室	1,040,000	補・委 文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)
歯限局型低ホスファターゼ症における分子・酵素レベルでの病態解析	沼 奈津子	小児歯科診療室	910,000	補・委 文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)
薬剤性歯肉繊維化局所におけるコラゲナーゼインヒビターの役割	久保田 健彦	歯周病診療室	1,560,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)
歯肉増殖症の歯肉におけるMMPs/TIMPsのバランス	中曾根 直弘	歯周病診療室	1,690,000	補・委 文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)
歯周炎病態, リスク診断のこれから:インターロイキン6受容体の可能性を探る	小松 康高	歯周病診療室	2,600,000	補・委 文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)
歯周組織再生を制御するマイクロRNA発現の網羅的解析	梶田 桂子	歯周病診療室	2,210,000	補・委 文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)
歯周炎重症化に対するフィブリノゲンとIL-6の関連 -in vivo 解析-	両角 俊哉	歯周病診療室	1,300,000	補・委 文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)
歯槽骨組織を用いた早期骨粗鬆症診断法の確立ー骨粗鬆症分野への歯科的貢献ー	田中 みか子	義歯(入れ歯)診療室	780,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)
頭頸部痛患者に対する学際的な診断システムの確立	昆 はるか	義歯(入れ歯)診療室	2,470,000	補・委 文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)
新規幹細胞源として期待される神経堤由来幹細胞の歯根膜からの分離解析	加来 賢	義歯(入れ歯)診療室	1,365,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究(20-1777)
統一モデリング言語による顎顔面非対称症例の客観的表記方法の開発とその臨床応用	越知 佳奈子	矯正歯科診療室	780,000	補・委 文部科学省科学研究費補助金 若手研究(B)
レギュラトリー細胞が歯周組織破壊に及ぼす影響 -敵か味方か-	中島 貴子	歯科総合診療部	6,370,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B)
生体親和性材料開発のための修復物の磨耗量と咬合力に関する研究	石崎 裕子	歯科総合診療部	1,430,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)
歯周炎感受性に関与するFcεレセプター遺伝子と情報発現制御メカニズムの解析	小林 哲夫	歯科総合診療部	1,560,000	補・委 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)

研究課題名	研究代表者	所属	金額	補助元又は委託元
培養骨膜によるインプラント適応拡大に向けた臨床骨再生	星名 秀行	インプラント治療部	1,430,000	補・委 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C)
歯の移植において多血小板血漿はどのように歯周組織を再生させるか	新美 奏恵	地域保健医療推進部	1,170,000	補・委 文部科学省科学 研究費補助金 若手研究(B)
ファーロー法による二段階口蓋形成手術法実施症例の長期言語成績について	寺尾 恵美子	言語治療室	650,000	補・委 文部科学省科学 研究費補助金 若手研究(B)
唾液腺多形性腫瘍の低酸素環境における増殖機構	丸山 智	病理検査室	1,950,000	補・委 文部科学省科学 研究費補助金 若手研究(B)

計82

- 注 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am Heart J. 2009 Oct;158(4):629-36	Close bidirectional relationship between chronic kidney disease and atrial fibrillation: the Niigata preventive medicine study.	Watanabe H, Watanabe T, Sasaki S, Nagai K, Roden DM, Aizawa Y.	第一内科
Circ J. 2009 Aug;73(8):1408-15	Significance of early onset and progressive increase of activation delay during premature stimulation in Brugada syndrome.	Furushima H, Chinushi M, Iijima K, Izumi D, Hosaka Y, Aizawa Y.	第一内科
Int J Cardiol. 2009 May 4. [Epub ahead of print]	Adiponectin/C-reactive protein interplay in healthy individuals and in patients with coronary artery	Ramadan MM, Kodama M, Ito M, El-Shahat N, Yousif MM, Aizawa Y.	第一内科
J Electrocardiol. 2009 Jul-Aug;42(4):367-73	Effects of verapamil on anterior ST segment and ventricular fibrillation cycle length in patients with Brugada syndrome.	Chinushi M, Iijima K, Tagawa M, Komura S, Furushima H, Aizawa Y.	第一内科
Internal Medicine	Class III beta-tubulin expression in tumor cells is correlated with resistance to docetaxel in patients with completely resected non-small-cell lung cancer	Yoshiki Hayashi, Hideyuki Kuriyama, Hajime Umezu, Junta Tanaka, Tatsuya Yoshimasu, Tomoko Furukawa, Hiroshi Tanaka, Hiroshi Kagamu, Fumitake Geivo	第二内科
気管支学	2006年アンケート調査からみた国内における気管支鏡の実態(2次出版).	丹羽 宏、棚橋 雅幸、近藤 丘、大崎 能伸、岡田 克典、佐藤 滋樹、鈴木 栄一、千場 博、藤野 昇三、宮澤 輝臣、小林	第二内科
Allergology International	An analysis of factors that exacerbate asthma, based on a Japanese questionnaire.	Kumiko Koyanagi, Toshiyuki Koya, Mayumi Sasagawa, Takashi Hasegawa, Eiichi Suzuki, Masaaki Arakawa, Fumitake Geivo	第二内科
Allergology International	Analysis of inhaled corticosteroid selection in patients with bronchial asthma using a questionnaire survey—effects of age, gender, and disease severity	Kyuma Ota, Takashi Hasegawa, Toshiyuki Koya, Takuro Sakagami, Takashi Sekikawa, Shinichi Toyabe, Kohei Akazawa, Masaaki Arakawa, Fumitake Geivo, Eiichi Suzuki	第二内科
Allergology International	An analysis of factors that exacerbate asthma, Based on a Japanese questionnaire.	Koyanagi K	第二内科
American Journal of Kidney Disease	Effect of a carbonaceous oral adsorbent on the progression of CKD: A multicenter, randomized, controlled trial	Tadao Akizawa, Yasushi Asano, Satoshi Morita, Takafumi Wakita, Yoshihiro Onishi, Shunichi Fukuhara, Fumitake Geivo, Seiichi Matsuo, Noriaki Yorikawa, Kiyoshi	第二内科
American Journal of Respiratory Cell and Molecular Biology	Differential effects of dendritic cell transfer on airway hyperresponsiveness and inflammation	Toshiyuki Koya, Hiroyuki Matsuda, Shigeaki Matsubara, Nobuaki Miyahara, Azzeddine Dakhama, Katsuyuki Takeda, Erwin W	第二内科
Biochemical and Biophysical Research Communications	Simple strategy for bone regeneration with a BMP-2/7 gene expression cassette vector	Mariko Kawai, Hiroki Maruyama, Kazuhiro Bessho, Hiromitsu Yamamoto, Jun-ichi Miyazaki, Toshio Yamamoto	第二内科
Calcified Tissue International	Comparison of quantitative cancellous bone connectivity analyses at two- and three-dimensional levels in dialysis patients	Junichiro James Kazama, Ryo Koda, Suguru Yamamoto, Ichiei Narita, Fumitake Geivo, Akihito Tokumoto	第二内科
CHEST	Comparative Study of High-Resolution CT Findings Between Autoimmune and Secondary Pulmonary Alveolar Proteinosis	Haruyuki Ishii, Bruce C. Trapnell, Ryushi Tazawa, Yoshikazu Inoue, Masanori Akira, Yoshihito Kogure, Kelsuke Tomii, Toshinori Takada, Masayuki Hojo, Toshio Ichihata, Haiime Goto, Koh Nakata	第二内科
Clinica Chimica Acta; International Journal of Clinical Chemistry and Diagnostic Laboratory Medicine	Molecular heterogeneity of urinary albumin in glomerulonephritis: Comparison of cardiovascular disease with albuminuria	Aki Nakayama, Minoru Sakatsume, Takeshi Kasama, Tokuhiko Kawara, Fumitake Geivo, Mitsuki Isobe, Kenji Sato, Kiyoko Shiba	第二内科
Clinical & Experimental Allergy	A prostacyclin agonist with thromboxane inhibitory activity for airway allergic inflammation in mice.	Masachika Hayashi, Toshiyuki Koya, Hidenori Kawakami, Takuro Sakagami, Takashi Hasegawa, Hiroshi Kagamu, Y Sakai, EW Gelfand, Fumitake Geivo	第二内科
Clinical and Experimental Allergy	Gene-expression profiles in human nasal polyp tissues and identification of genetic susceptibility in aspirin-intolerant asthma.	Takashi Sekigawa, A Tajima, Takashi Hasegawa, Y Hasegawa, H Inoue, Y Sano, S Matsune, Y Kurono, Itsuro Inoue	第二内科
Clinical and Experimental Nephrology	Design and methods of a strategic outcome study for chronic kidney disease: Frontier of renal outcome modification in Japan	Kuhinori Yamagata, Hirofumi Makino, Tadao Akizawa, Kunitoshi Iseki, Sadayoshi Itoh, Kenjiro Kimura, Daisuke Koya, Ichiei Narita, Tetsuya Mitarai, Masahobu Miyazaki, Yoshiharu Tsubakihara, Tsuyoshi Watanabe, Takashi Wada, Osamu Sakai	第二内科
Diabetes research and Clinical Practice	Diabetic nephropathy remission and regression team trial in Japan (DENTT-Japan): Rationale and study design	Kenichi Shikata, Masakazu Haneda, Daisuke Koya, Yoshiki Suzuki, Yasuhiko Tomino, Kenichi Yamada, Shiro Maeda, Norito Kawakami, Takashi Uzu, Motonobu, Nishimura, Chikaze Sato, Daisuke Ozawa	第二内科
Diabetologia	Long-term effect of modification of dietary protein intake on the progression of diabetic nephropathy: a randomised controlled trial.	Daisuke Koya, Masakazu Haneda, Shigeaki Inomata, Yoshiki Suzuki, Daisuke Suzuki, Hirofumi Makino, Kenichi Shikata, Yoshitaka Murakami, Yasuhiko Tomino, Kenichi Yamada, Shinichi Araki, Atsunori Kashiwagi, Ryuichi Kikkawa	第二内科
General Medicine	Medical students provide volunteer services following the Chuetsu-Oki earthquake.	Iguchi S	第二内科
Internal Medicine	Inflammatory cells in lung disease associated with rheumatoid arthritis	Yoshiya Nagasawa, Toshinori Takada, Takashi Shimizu, Jun-ichi Narita, Hiroshi Moriyama, Masaki Terada, Eiichi Suzuki	第二内科
J Asthma	Effect of ciclesonide on bronchial asthma in	Koya T	第二内科
Journal of Antimicrobial Chemotherapy	Efficacy of colistin combination therapy in a mouse model of pneumonia caused by multidrug-resistant Pseudomonas aeruginosa	Nobumasa Aoki, Kazuhiro Tateda, Yoshiaki Kikuchi, Soichiro Kimura, Choichiro Miyazaki, Yoshikazu Ishii, Yoshinari Tanabe, Fumitake Geivo, Keizo Yamaguchi	第二内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Asthma	Effect of Ciclesonide on Bronchial Asthma in Athletes	Toshiyuki Koya, Takashi Hasegawa, Junta Tanaka, Hidenori Kawakami, Masachika Hayashi, Hiroshi Kagamu, Ichiei Narita, Masaaki Arakawa, Fiiichi Suzuki	第二内科
Journal of Bone and Metabolism	Microscopic hematuria is associated with low bone mineral density in aged women and men	Kazutoshi Nakamura, Junichiro James Kazama, Yoshifumi Tanaka, Keiko Makabe, Mari Oyama, Yasuo Tsuchiya, Masaharu Yamamoto	第二内科
Journal of Rheumatology	Effective anti-TNF-alpha therapy can induce rapid resolution and sustained decrease of gastroduodenal mucosal amyloid deposits in reactive amyloidosis associated with rheumatoid	Takeshi Kuroda, Yoko Wada, Daisuke Kobayashi, Shuichi Murakami, Takehito Sakai, Shintaro Hirose, Naohito Tanabe, Takako Saeki, Masaaki Nakano, Ichiei	第二内科
Journal of Rheumatology	Effective anti-TNF-alpha therapy can induce rapid resolution and sustained decrease of gastroduodenal mucosal amyloid deposits in reactive amyloidosis associated with rheumatoid	Takeshi Kuroda, Yoko Wada, Daisuke Kobayashi, Shuichi Murakami, Takehito Sakai, Shintaro Hirose, Naohito Tanabe, Takako Saeki, Masaaki Nakano, Ichiei	第二内科
Lung	Effects of IS-741, a synthetic anti-inflammatory agent, on bleomycin-induced lung injury in mice	Yuichi Shimaoka, Shunji Tajima, Fumio Fujimori, Cristiane Yamabayashi, Hiroshi Moriyama, Masaki Terada, Toshinori Takada, Eiichi Suzuki, Masashi Bando, Yukiko Sueiyama, Ichiei Narita	第二内科
Nephrology Frontier 増刊号	シナカルセット治療に伴うwhole PTH/intact PTH比率の変化に関する多施設共同研究第1報	甲田 亮、風間順一郎、丸山 弘樹、成田 一衛、下条 文武	第二内科
Nephron Clinical Practice	The risk of gallbladder stone formation is increased in patients with predialysis chronic kidney disease but not those undergoing chronic hemodialysis	Junichiro James Kazama, Sakumi Kazama, Ryo Koda, Suguru Yamamoto, Ichiei Narita, Fumitake Geivo	第二内科
Respirology	Bronchoscopy in Japan: a survey by the Japan Society for Respiratory Endoscopy in 2006	Hiroshi Niwa, Masayuki Tanahashi, Takashi Kondo, Yoshinobu Ohsaki, Yoshinori Okada, Shigeki Sato, Eiichi Suzuki, Hiroshi Senba, Shozo Fujino, Teruomi Miyazawa, Koichi Kobayashi	第二内科
Rheumatology International	Hypocomplementemia of unknown etiology: an opportunity to find cases of IgG4-positive multi-organ lymphoproliferative syndrome	Takako Saeki, Tomoyuki Ito, Hajime Yamazaki, Naofumi Imai, Shinichi Nishi	第二内科
The Journal of Immunology	Vaccine-induced CD8+T cell-dependent suppression of airway hyperresponsiveness and inflammation.	Katsuyuki Takeda, Steven W Dow, Nobuaki Miyahara, Taku Kodama, Toshiyuki Koya, Christian Taube, Anthony Joetham, Jung-Won Park, Azzeddine Dakhama, Ross M Kerd, Ersin Gelfane	第二内科
The LANCET Oncology	Palonosetron plus dexamethasone versus granisetron plus dexamethasone for prevention of nausea and vomiting during chemotherapy: a double-blind, double-dummy, randomised, comparative phase III trial	Mitsue Saito, Kenjiro Aogi, Ikuo Sekine, Hirohisa Yoshizawa, Yasuhiro Yanagita, Hiroshi Sakai, Kenichi Inoue, Chiyo Kitagawa, Takashi Ogura, Shoichi Mitsuhashi	第二内科
新潟大学の取り組み、腎と透析(別冊・腹膜透析2009)	腹膜透析医療の病診連携	丸山 弘樹、後藤 真、飯野 則昭、山本 卓、佐藤多恵子、新田 笑子、小出真希子、下条 文武	第二内科
日本呼吸器学会雑誌	慢性閉塞性肺疾患の日常生活動作の息切れとQOLに対するプロカテロールの効果	佐藤英夫、岩島明、遠藤禎郎、中山秀章、長谷川隆志、鈴木 栄一	第二内科
日本透析医学会雑誌	透析導入基準(旧厚生省研究班作成)を透析医はいかに使用し、また評価している?	土井 俊樹、佐田 憲映、西野 克彦、木村 友則、森永 貴理、山本 卓、富永 直人、柴垣 有吾、長谷川 毅、大西 良浩	第二内科
保健医療福祉連携	新潟大学における医療人GP「赤ひげチーム医療人の養成プログラム」	井口清太郎、太田 求磨、森山 雅人、藤澤 純一、長谷川隆志、鈴木 栄一、畠山 勝義	第二内科
Clin J Gastroenterol	Malignant potential of hepatic angiomyolipoma: case report and literature review	Kenya Kamimura,	第三内科
Gastroenterological Endoscopy	内視鏡的に治療した食道カルチノイドの1例	佐藤 俊大	第三内科
Helicobacter Research	胃MALTリンパ腫に対するHelicobacter pylori除菌治療後の長期予後② -IgH再構成検査併用の有用性について-	佐藤 祐一	第三内科
Hepatology Research	Progress toward liver-based gene therapy	Takeshi Suda	第三内科
Molecular Therapy	Image-guided, Intravascular Hydrodynamic Gene Delivery to Skeletal Muscle in Pigs	Kenya Kamimura	第三内科
Molecular Therapy	Image-guided, Lobe-specific Hydrodynamic Gene Delivery to Swine Liver	Kenya Kamimura	第三内科
Pathology International	Protein expression of nuclear receptors in human and murine tissues	So Takegoshi	第三内科
胃と腸	7.特殊な成り立ちの早期胃癌 3)粘膜下嚢胞由来の	竹内 学	第三内科
高崎医学	ピロリ菌をめぐる最新の話題 -消化性潰瘍から胃がんまで-	佐藤 祐一	第三内科
消化器内科	H.pylori除菌後発見胃癌の臨床的特徴	佐藤 祐一	第三内科
新潟医学会雑誌	潰瘍性大腸炎に随伴する十二指腸病変の病理組織学的特徴の検討	渡辺 和彦	第三内科
新潟市医師会報	H.pylori感染の診断と治療のガイドライン2009改訂版のポイントと今後の展望	佐藤 祐一	第三内科
成人病と生活習慣病	Helicobacter pyloriと貧血	佐藤 祐一	第三内科
第94回日本消化器病学会総会記念誌	頭頸部腫瘍の化学放射線治療における造設とNSTのかかわり	佐藤 祐一	第三内科
Psychiatry Research Neuroimaging	5-HTTLPR polymorphism influences prefrontal neuralchemical metabolites in autism spectrum	遠藤 太郎	精神科
British Medical Journal	Hypoglycaemia induced by second generation antipsychotic agents in schizophrenic non-diabetic patients.	鈴木 雄太郎	精神科
Journal of Psychopharmacology	CYP2D6 genotype and smoking influence the steady-state fluvoxamine concentration in Japanese psychiatric patients: Lessons for genotype-phenotype association study design in translational pharmacogenetics	鈴木 雄太郎	精神科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Molecular Psychiatry	Exploring functional polymorphisms in the dopamine receptor D2 gene using prolactin concentration in healthy subjects.	福井 直樹	精神科
Schizophrenia Research	Diagnostic classification of schizophrenia by neural network analysis of blood-based gene expression signatures.	染矢 俊幸	精神科
AMERICAN JOURNAL OF NEPHROLOGY Volume: 31 Issue: 3 Pages: 273-282 Published: 2010年3月	Contrasting Effects of Steroids and Mizoribine on Macrophage Activation and Glomerular Lesions in Rat Thy-1 Mesangial Proliferative Glomerulonephritis	Ikezumi Y, Suzuki T, Karasawa T, et al. 医歯学総合病院 小児科 講師	小児科
BLOOD COAGULATION & FIBRINOLYSIS Volume: 20 Issue: 6 Pages: 470-474 Published: 2009年9月	A novel homozygous 8-base pair deletion mutation in the glycoprotein Ib alpha gene in a patient with Bernard-Soulier syndrome	Imai C, Kunishima S, Takachi T, et al. 医歯学系 助教	小児科
ENDOCRINE JOURNAL Volume: 56 Issue: 5 Pages: 721-725 Published: 2009年8月	Spontaneous Regression of Isolated Neurohypophyseal Langerhans Cell Histiocytosis with Diabetes Insipidus	Nagasaki K, Tsumanuma I, Yoneoka Y, et al. 医歯学総合病院 小児科 助教	小児科
HORMONE RESEARCH Volume: 72 Pages: 260-260 Published: 2009年10月	A study of the metabolic effects of growth hormone replacement in patients with growth without growth hormone.	Nagasaki K, Ogawa Y, Kikuchi T, et al. 医歯学総合病院 小児科 助教	小児科
JOURNAL OF ATHEROSCLEROSIS AND THROMBOSIS Volume: 16 Issue: 6 Pages: 821-828 Published: 2009年12月	Progression Factors of Carotid Intima-Media Thickness and Plaque in Patients with Long-Term, Early-Onset Type 1 Diabetes Mellitus in Japan: Simultaneous Comparison with Diabetic Retinopathy	Ogawa Y, Uchigata Y, Iwamoto Y 医歯学総合病院 小児科 医員 (現 地域医療学講座 助教)	小児科
PEDIATRIC HEMATOLOGY AND ONCOLOGY Volume: 26 Issue: 7 Pages: 520-525 Published: 2009年10月	EFFECT OF CHARCOAL HEMOPERFUSION FOR REMOVAL OF PLASMA METHOTREXATE IN A PATIENT WITH ACUTE RENAL FAILURE	Nemoto T, Imai C, Kaneko U, et al. 医歯学総合病院 小児科 医員	小児科
PEDIATRIC NEPHROLOGY Volume: 24 Issue: 3 Ann Oncol 2009; 20, 337-342.	Hyponatremia due to an excess of arginine vasopressin is common in children with febrile Loss of enterocyte mass is accompanied by diminished turnover of enterocytes after myeloablative therapy in haematopoietic stem cell	Hasegawa H, Okubo S, Ikezumi Y, et al. 医歯学総合病院 小児科 医員	小児科
Anticancer Res 2009; 29, 3375-80.	Clinicopathological and immunohistochemical characteristics of esophageal carcinosarcoma.	Derikx J, Blijlevens N, Fujii H, Kanda T, Donnelly P, von Bijnen A, Heineman E.	第一外科
Bolonga: Monduzzi Editore; 2009. p 33-34.	Lymph node metastasis of Siewert type II adenocarcinoma of the esophagogastric junction: Analysis using therapeutic value estimation formula. In: Popiela T, edit. Proceedings of the 8th international gastric cancer congress	Sano A, Sakurai S, Kato H, Sakai M, Tanaka N, Inose T, Saito K, Sohda M, Nakajima M, Sakamoto K, Sano T, Hosoya Y, Enomoto T, Kanda T, Ovama T, Ajioka Y, Kanda T, Yajima K, Suzuki T, Matsuki A, Kosugi S, Hatakeyama K.	第一外科
Case Rep Gastroenterol 2009;3:105-110.	Successful treatment in a case of massive hepatocellular carcinoma with paraneoplastic syndrome.	Tsuchiya A, Kubota T, Takizawa K, Yamada K, Wakai T, Matsuda Y, Honma T, Watanabe M, Shirai Y, Maruyama H.	第一外科
Dig Dis Sci 2009;54(1):80-8.	Progression of Hypermethylation of the p16 (INK4A) Gene from Normal Liver to Nontumorous Liver and Hepatocellular Carcinoma: An Evaluation Using Quantitative PCR Analysis.	Kurita S, Ohkoshi S, Yano M, Yamazaki K, Suzuki K, Aoki YH, Matsuda Y, Wakai T, Shirai Y, Ichida T, Aoyagi Y.	第一外科
Dis Esophagus. 2009; 22(4):E6-E10	Schwannoma of the esophagus: a case exhibiting high 18F-fluorodeoxyglucose uptake in positron emission tomography imaging.	Matsuki A, Kosugi S, Kanda T, Komukai S, Ohashi M, Umezū H, Mashima Y, Suzuki T, Hatakeyama K.	第一外科
Esophagus 2009, 6, 253-258.	Esophageal squamous cell carcinoma patient with high serum granulocyte-colony stimulating factor level: report of a case.	Tanabe T, Kanda T, Ishihara N, Kosugi S, Matsuki A, Watanabe G, Sasamoto R, Hatakeyama K.	第一外科
Hepatogastroenterology 2009;56(39):186-90.	Hepatic lymph node dissection provides a survival benefit for patients with nodal disease of colorectal carcinoma liver metastases.	Wakai T, Shirai Y, Sakata J, Nagahashi M, Kaneko K, Hatakeyama K.	第一外科
Int J Colorectal Dis 24:1321-1326,2009	Comparison of a colonic J-pouch and transverse coloplasty pouch in patients with rectal cancer after an ultralow anterior resection using	Kobayashi Y, Yagi M, Iiai T, Tani T, Maruyama S, Hatakeyama K	第一外科
International Journal of Clinical Oncology 14: 457-459, 2009	Interstitial pneumonia arising in a patient treated with oxaliplatin, 5-fluorouracil, and leucovorin (FOLFOX).	Muneoka K, Shirai Y, Sasaki M, Wakai T, Sakata J, Hatakeyama K.	第一外科
INTESTINE 13:315-321, 2009	腫瘍を合併した潰瘍性大腸炎の外科手術	飯合恒夫, 野上 仁, 谷 達夫, 畠山勝義	第一外科
J Obstet Gynaecol Res 35(5):912-7, 2009.	The prevalence of hereditary breast/ovarian cancer risk in patients with a history of breast or ovarian cancer in Japanese subjects.	Komata D, Yahata T, Kodama S, Koyama Y, Takeda N, Tajima K, Makino H, Sato N, Muto I, Hatakeyama K, Tanaka K.	第一外科
J Pediatr Surg 2009;44(8):1522-8.	Loss of carcinoembryonic antigen-related cell adhesion molecule 1 expression predicts metachronous pulmonary metastasis and poor survival in patients with hepatoblastoma	Tsukada M, Wakai T, Matsuda Y, Korita PV, Shirai Y, Ajioka Y, Hatakeyama K, Kubota M.	第一外科
Jpn J Clin Oncol. 2009;39:360-6.	Retrospective review of surgery and definitive chemoradiotherapy in patients with squamous cell carcinoma of the thoracic esophagus aged 75 years or older	Kosugi S, Sasamoto R, Kanda T, Matsuki A, Hatakeyama K.	第一外科
Langenbecks Arch Surg. 2009;394:1065-72.	Preoperative cholangitis independently increases in-hospital mortality after combined major hepatic and bile duct resection for hilar	Sakata J, Shirai Y, Tsuchiya Y, Wakai T, Nomura T, Hatakeyama K.	第一外科
Pathol Int. 59(7):462-702, 2009.	Immunohistochemical staining for P1 and P2 promoter-driven hepatocyte nuclear factor-4alpha may complement mucin phenotype of differentiated-type early gastric carcinoma	Takano K, Hasegawa G, Jiang S, Kurosaki I, Hatakeyama K, Iwanari H, Tanaka T, Hamakubo T, Kodama T, Naito M.	第一外科
Pp12-18 中山書店(東京) 2009	大腸全摘術. 消化器外科手術ナビガイド 大腸・小腸 笹子三津留, 杉原健一 編	飯合恒夫, 野上 仁, 木戸知紀, 畠山勝義	第一外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pp303-308 中外医学社(東京)2009	炎症性腸疾患に対する外科治療戦略, Annual Review2009消化器 林 紀夫, 日比紀文, 上西紀夫, 下瀬川徹 編	飯合恒夫, 畠山勝義	第一外科
Pp60-67 文光堂(東京)2009	短腸症候群 ケースで学ぶ栄養管理の思考プロセス 松末 智, 田中 清, 本田佳子 編	飯合恒夫, 畠山勝義	第一外科
Pp82-86 中山書店(東京)2009	大腸憩室症, Meckel憩室症に対する手術, 消化器外科手術ナビガイド 大腸・小腸 笹子三津留, 杉	飯合恒夫, 畠山勝義	第一外科
Review of Gastroenterology & Clinical Gastroenterology and Surg Today, 2009; 39(3):261-4.	Gastric tube interposition for corrosive esophagitis associated with pyloric stenosis.	Matsuki A, Kanda T, Kosugi S, Suzuki T, Hatakeyama K.	第一外科
Transplant Proc. 41: 222-225, 2009	Impact of Intraportal Donor-Specific Leukocyte Transfusion for Adult ABO-Incompatible Liver Transplantation	Hiroshi Oya, Yoshinobu Sato, Satoshi Yamamoto, Hideki Nakatsuka, Takashi Kobayashi, Yoshiaki Hara, Takaaki Watanabe, Hidenaka Kokai, Katsuyoshi	第一外科
Transplant Proc. 41: 433-434, 2009	De Novo Autoimmune Hepatitis After Living Donor Liver Transplantation in a 25-Day-Old Newborn Baby: A Case Report	Hiroshi Oya, Yoshinobu Sato, Satoshi Yamamoto, Takashi Kobayashi, Takaaki Watanabe, Hidenaka Kokai, Katsuyoshi Hatakeyama	第一外科
World J Gastrointest Surg 1(1): 49-55, 2009.	In vivo effect of imatinib on progression of cecal GIST-like tumors in exon 17-type c-kit knock-in mice	Takashi Ishikawa, Norihiro Nakai, Ning-Ning Liu, Kazuhiro Shiba, Koji Isozaki, Ikuo Matsuda, Takashi Ito, Jiro Fujimoto, Katsuyoshi Hatakeyama, Tatsuo Kanda	第一外科
World Journal of Surgery 33(2):284-289	Risk factors of reflux esophagitis in the cervical remnant following esophagectomy with gastric tube reconstruction	K. Yajima, S. Kosugi, T. Kanda, T. Matsuki, K. Hatakeyama	第一外科
カレントセラピー 27(11) 1037-1041, 2009	GIST(消化管間質腫瘍)におけるイマチニブとスニチニブ	神田達夫, 坂本 薫, 藤森芳郎, 畠山勝義	第一外科
できる総合・吻合 臨外64(増刊号): 235-239, 2009	大腸全摘後の回腸囊の縫合・吻合	飯合恒夫, 野上 仁, 谷 達夫, 畠山勝義	第一外科
ドクターサロン 54(1): 7-11, 2009	新年特集「消化器病領域における新年の展望—第96回日本消化器病学会総会に向けて—」	畠山勝義	第一外科
レジデントノート11巻Suppl.: 234-238, 2009.	栄養輸液 静脈栄養と経腸栄養の実際	小山 諭, 畠山 勝義	第一外科
医学と薬学 62(6):979-992, 2009	脂肪酸結合タンパク質(FABP)研究の進歩	藤井博, 神田達夫	第一外科
栄養-評価と治療 26巻3号 Page235-239, 2009.	乳癌患者の栄養ケアの実際	小山諭, 長谷川美樹, 坂田英子, 五十嵐麻由子, 萬羽尚子, 畠山勝義	第一外科
栄養-評価と治療 26巻6号 Page460-462, 2009.	入院時栄養評価における血漿亜鉛(Zn)値測定の有用性	伊藤正行, 佐藤卓, 高野操, 棚橋洋子, 中村明, 小山諭, 岡田正彦	第一外科
栄養-評価と治療26巻1号:50-54, 2009.	重症糖尿病を合併した消化器外科患者の周術期管理	小山諭, 小杉伸一, 神田達夫, 坂田英子, 吉澤麻由子, 萬場尚子, 長谷川美樹, 畠山	第一外科
外科 71(12): 1351-1353, 2009	腹壁瘻痕ヘルニア	野上 仁, 畠山勝義	第一外科
外科と代謝・栄養 43巻6号 Page125-133, 2009.	ラット乳癌モデルに対する抗酸化物質含有栄養剤の効果	高橋万有, 佐藤則文, 小山諭, 畠山勝義	第一外科
外科治療101(1) 67-69.	転移・再発性GISTに対するイマチニブ治療	神田達夫, 畠山勝義	第一外科
肝胆臓 2009;59(5):949-54.	胆管側浸潤Binを呈するstage IV胆管癌の治療戦略	若井俊文, 白井良夫, 坂田 純, 永橋昌幸, 井上 真, 畠山勝義	第一外科
癌と化学療法 36(8): 1367-1370, 2009	大腸癌術前化学療法としてのIRIS療法(S-1/OPT-11)によりClinical CRが得られた1例	佐藤良平, 岩谷昭, 瀧井 康公, 太田 玉紀	第一外科
癌と化学療法 36: 131-134, 2009	血清5-FU濃度を指標としてレジメンを変更した直腸癌術後肝転移の1例	宗岡克樹, 白井良夫, 佐々木正貴, 神田 雅吉, 若井俊文, 朝倉俊成, 若林広行, 畠	第一外科
癌と化学療法 36: 127-129, 2009	集学的治療により長期生存中のVirchowリンパ節転移と多発肺転移を伴った盲腸癌の1例	高橋聡, 飯合恒夫, 島田能史, 小林康雄, 須田和敬, 岩谷昭, 丸山聡, 谷達夫, 畠山	第一外科
消化管症候群(第2版) 別冊 日本臨床(下): 152-	大腸内分泌細胞癌	飯合恒夫, 谷 達夫, 野上 仁, 川原聖佳子, 畠山勝義	第一外科
消化器の臨床(1344-3070)12巻5号 Page514-	経静脈栄養法の手法と管理	小山諭, 坂田英子, 長谷川美樹, 五十嵐麻由子, 萬羽尚子, 畠山勝義	第一外科
消化器外科NURSING 14(12): 22-28, 2009	術式別の押さえどころがわかる退院指導マニュアル 大腸切除術	野上 仁, 谷 達夫, 飯合恒夫, 畠山勝義	第一外科
消化器外科NURSING 14(12): 66-68, 2009	術式別の押さえどころがわかる退院指導マニュアル 急性虫垂炎の治療	野上 仁, 谷 達夫, 飯合恒夫, 畠山勝義	第一外科
消化器研修ノート 診断と治療社 p102, 103	研修で学ぶべき知識と技術「浣腸」	野上 仁, 畠山勝義	第一外科
新・症脈栄養-経腸栄養ガイド Medical Practice 26巻増刊:103-114, 2009.	ビタミン、電解質、微量元素製剤とその使い方	小山 諭, 畠山 勝義	第一外科
新潟医学会雑誌 123(3): 128-134, 2009	胆管癌の表層拡大進展の存在診断に経口胆道鏡検査が有用であった1例	佐藤良平, 若井俊文, 金子和弘, 井上 真, 白井良夫, 塩路和彦, 成澤林太郎, 味岡 洋一, 畠山勝義	第一外科
新潟医学会雑誌 123(3):135-141, 2009.	播種性骨髄腫症により急激な経過をたどった上行結腸癌の1例	清水 孝王, 千田 匡	第一外科
新潟医学会雑誌 123(4):181-187, 2009.	胃癌術後にToxic Shock Syndrome (TSS)を併発し重篤化した1例	清水 孝王	第一外科
新潟医学会雑誌 123巻5号 Page242-244, 2009.	外科的胃瘻造設術にバードガストロストミーチューブを用いた1例	下田傑, 若井俊文, 金子和弘, 小山諭, 白井良夫, 畠山勝義	第一外科
新潟医学会雑誌 第123巻第1号	腹腔鏡下に切除し得た上行結腸癌・小腸GISTの重複例	小川 洋, 西村 淳, 牧野成人, 河内保之, 新国恵也	第一外科
新潟医学会雑誌 第123巻第2号	盲腸単純性潰瘍に対し腹腔鏡下手術を施行した1例	小川 洋, 西村 淳, 牧野成人, 河内保之, 新国恵也	第一外科
新潟医学会雑誌 第123巻第6号 p301-310.	胃内内分泌細胞腫瘍におけるKIT蛋白発現の検討	榎本剛彦	第一外科
新潟県立病院医学会誌 57: 37-42, 2009	腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した胆嚢捻転症の3例	永橋昌幸, 広田正樹	第一外科
総合臨床 58巻増刊: 1044-1050, 2009.	一般的な維持輸液、栄養輸液、経腸栄養の実際	小山 諭, 畠山 勝義	第一外科
胆道 23: 207-210, 2009	総胆管結石に伴う急性膵炎で発症した長い共通管を有する膵・胆管合流異常の1例	坂田 純, 白井良夫, 若井俊文, 金子和弘, 畠山勝義	第一外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
内分泌外科 26巻4号 Page219-223, 2009.	当科における濾胞性腫瘍手術症例の検討	小山諭, 坂田英子, 長谷川美樹, 萬羽尚子, 吉澤麻由子, 畠山勝義	第一外科
日消外誌 42(11): 1643-1651, 2009	直腸間膜全割標本による直腸癌肛門側進展の検討	島田 能史, 瀧井 康公, 神林 智寿子, 野村 達也, 中川 悟, 荻崎 裕, 佐藤 信昭, 土屋 嘉昭, 梨本 篤, 田中 乙雄	第一外科
日消外誌 42(3):288-292, 2009.	サイトメガロウイルス感染および直腸腫瘍を合併した潰瘍性大腸炎の1例	島田 能史, 飯合 恒夫, 丸山 聡, 谷 達夫, 畠山 勝義	第一外科
日消外誌42(4) :404~410, 2009年	Nonsteroidal antiinflammatory drugs投与によると考えられた大腸穿孔・穿通の2例	Takano K, Hasegawa G, Jiang S, Kurosaki I, Hatakeyama K, Iwanari H, Tanaka T, Hamakubo T, Kodama T, Naito M.	第一外科
日本外科感染症学会雑誌 6(1):79-83, 2009.	消化器外科術後MRSA感染症に対するリネゾリド投与・血小板減少例における副作用発現要因の解析	皆川 昌広, 黒崎 功, 畠山 勝義	第一外科
日本外科系連合学会誌 34(5):974-978, 2009.	術前CTで診断し腹腔鏡下手術にて治療した子宮広間膜裂孔ヘルニアの1例	清水 孝王, 遠藤 和彦	第一外科
日本癌病態治療研究会誌 15(1): 77-79, 2009.	食道癌の肉腫化および進展に関する分子病理学検討: 日本癌病態治療研究会平成20年度奨励報告	佐野彰彦, 櫻井信司, 加藤広行, 榎本剛彦, 神田達夫, 味岡洋一, 細谷好則, 桑野博行	第一外科
日本消化器病学会雑誌 第106巻 第8号	潰瘍性大腸炎に合併した真菌性化膿性脊椎炎の1例	田島 陽介, 飯合 恒夫, 川原 聖佳子, 谷 達夫, 森田 修, 畠山 勝義	第一外科
日本臨床 68巻増刊号3 静脈・経腸栄養 Page45-50.	【静脈・経腸栄養(第3版) 基礎・臨床研究のアップデート】 静脈・経腸栄養ガイドライン	小山諭, 畠山勝義	第一外科
日本臨床 68巻増刊号3 静脈・経腸栄養 Page669-673.	【静脈・経腸栄養(第3版) 基礎・臨床研究のアップデート】 在宅栄養療法 成人での在宅栄養療法	小山諭, 畠山勝義	第一外科
日本臨床外科学会雑誌 70(10): 3061-6035, 2009	腸重積を併発した腸管原発脂肪腫に対する腹腔鏡補助下切除の2例	佐藤 洋, 矢島和人, 富田 広, 小海秀史	第一外科
日本臨床外科学会雑誌 第70巻 4号	日本臨床外科学会雑誌 第70巻 4号	小川 洋, 西村 淳, 牧野成人, 河内保之, 新国恵也	第一外科
臨外64(2) 193-198, 2009.	イマチニブ耐性に対する局所療法	神田達夫, 松木 淳, 小杉伸一, 畠山勝義	第一外科
臨外64: 49-53, 2009	大腸癌の予後因子	飯合恒夫, 谷 達夫, 丸山 聡, 畠山勝義	第一外科
臨外64: 623-628, 2009	J型回腸囊かW型回腸囊か	飯合恒夫, 亀山仁史, 野上 仁, 川原聖佳子, 谷 達夫, 畠山勝義	第一外科
臨床外科 64(3) : 294, 2009	特集によせて 特集「直腸癌治療 - 最近の進歩と動向」	畠山勝義	第一外科
臨床外科 2009;64(8):1085-92.	胆嚢癌の肝内進展様式に基づく適切な肝切除範囲	若井俊文, 白井良夫, 坂田 純, 永橋昌幸, 味岡洋一, 畠山勝義	第一外科
臨床外科, Vol.65, No.2, 250-257, 2010	外科医に必要なPET検査の知識 - その有用性と問題点: GIST	石川卓, 神田達夫, 間島寧興, 羽入隆晃, 松木淳, 小杉伸一, 畠山勝義	第一外科
臨床外科64巻10号 Page1359-1363, 2009.	大腸手術におけるimmunonutrition	小山諭, 長谷川美樹, 五十嵐麻由子, 坂田英子, 萬羽尚子, 畠山勝義	第一外科
臨床消化器内科 24(8) : 1180, 2009	学会だより「第95回日本消化器病学会総会」	畠山勝義	第一外科
Annals of Thoracic Surgery 平成21年10月	Limited resection for noninvasive bronchioloalveolar carcinoma diagnosed by intraoperative pathologic examination	小池 輝元	第二外科
Annals of Thoracic Surgery 平成21年2月	Impact of age at Fontan completion on postoperative hemodynamics and long-term aerobic exercise capacity in patients with dominant left ventricle	白石 修一	第二外科
Oncology Reports 平成21年4月	Expression of 5-fluorouracil-related enzymes in lung cancer:ELISA characterizes enzyme activity and messenger RNA expression	土田 正則	第二外科
Surgery Today 平成21年9月	Superior vena cava reconstruction via a posterolateral thoracotomy without venous occlusion for locally advanced lung cancer	篠原 博彦	第二外科
Transplantation Proceedings 平成21年9月	Protective mechanism of ultrafiltration against cardiopulmonary bypass-induced lung injury	小池 輝元	第二外科
Clinical and experimental dermatology	Cutaneous sarcoid with varied morphology associated with hypercalcaemia and renal	Miida H	皮膚科
Contact Dermatitis	Allergic contact dermatitis due to mono(2-ethylhexyl)maleate in di-(n-octyl)tin-bis(2-ethylhexyl maleate)in polyvinyl chloride gloves.	Ito A	皮膚科
Journal of cutaneous pathology	Tuberculoid granulomas in cutaneous sarcoidosis:study of 49 cases	Miida H	皮膚科
Journal of Dermatological Science	Mutations in the LIPH gene in three Japanese families with autosomal recessive woolly	Shimomura Y	皮膚科
Journal of Dermatological Science	Prognosis of 100 Japanese patients with mycosis fungoides and Sezary syndrome	Suzuki S	皮膚科
西日本皮膚科	爪白癬に対するリナファート(ゼファートクリーム)外用療法の臨床的検討	田中 英一郎	皮膚科
臨床皮膚科	デスミン陽性のdesmoplastic malignant melanomaの	株本 武範	皮膚科
臨床皮膚科	陰圧閉鎖療法が奏効したポケットを有する背部巨大皮膚潰瘍の1例	山崎 潤香	皮膚科
Coronary Intervention	Dual Source CTに期待できること	堀祐郎	放射線科
INNERVISION	心臓CTの技術進歩と臨床にもたらす影響 - DSCTによる変化	堀祐郎	放射線科
INNERVISION	特集1 Cardiac Imaging最前線 最新CTがもたらすイノベーション	堀井陽祐, 堀祐郎, 吉村宣彦	放射線科
NeuroImage	[18F]Flumazenil binding to central benzodiazepine receptor studies by PET-Quantitative analysis and comparisons with [11C]flumazenil	小田野行男	放射線科
Rad Fan	特集1 循環器画像診断Perfect Guide 2010 Siemens SOMATOM Definition Flashを臨床に駆使	堀祐郎, 堀井陽祐, 吉村宣彦	放射線科
Rad Fan	特集① 循環器画像診断はこうなる! Part1 MSCTを用いた冠動脈CT-フラッグシップモデルの使用経験 Siemens SOMATOM Definition Flashの特徴と初期	堀祐郎, 堀井陽祐, 吉村宣彦	放射線科
映像情報Medical	Dual Source CTによる冠動脈CT:不整脈症例への	堀祐郎	放射線科
臨床核医学	核医学からみる認知症の予防の考え方	小田野行男	放射線科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Aust N Z J Obstet Gynaecol.	Antibody responses to Porphyromonas gingivalis outer membrane protein in the first trimester.	Sasahara J, Kikuchi A, Takakuwa K, Sugita N, Abiko Y, Yoshie H, Tanaka K.	産科婦人科
Cancer Sci.	Gene expression profiling of advanced-stage serous ovarian cancers distinguishes novel subclasses and implicates ZEB2 in tumor progression and prognosis.	Yoshihara K, Tajima A, Komata D, Yamamoto T, Kodama S, Fujiwara H, Suzuki M, Onishi Y, Hatase M, Sueyoshi K, Fujiwara H, Kudo Y, Inoue I, Tanaka K.	産科婦人科
Jpn J Infect Dis.	Studies of assisted reproduction techniques (ART) for HIV-1-discordant couples using washed sperm and the nested PCR method; a comparison of the pregnancy rates in HIV-1-discordant couples and	Kashima K, Takakuwa K, Suzuki M, Makino M, Kaneko S, Kato S, Hanabusa H, Tanaka K.	産科婦人科
Anesth Analg	Reduced immobilizing properties of isoflurane and nitrous oxide in mutant mice lacking the N-Methyl-D-Aspartate receptor GluR(epsilon) 1 subunit are caused by the secondary effects of gene knockout	Petrenko AB (医師以外)	麻酔科
Anesthesiology	Bupivacaine inhibits glutamatergic transmission in spinal dorsal horn neurons	Furutani K	麻酔科
Eur J Anaesthesiol	Nitrous oxide and the inhibitory synaptic transmission in rat dorsal horn neurons	Georgiev SK (医師以外)	麻酔科
ペインクリニック	神経障害性疼痛の基礎と臨床I II. 神経障害性疼痛に関する基礎研究 13) 神経障害性疼痛に対するオピオイドとカンナビノイドの鎮痛作用の違い	河野 達郎	麻酔科
脊髄機能診断学	脊髄での興奮性伝達に対するブピバカインの作用	吉谷 健太	麻酔科
日本臨床麻酔学会誌	肺胞蛋白症に対するECMO補助下肺洗浄の全身麻酔管理経験	今井 英一	麻酔科
臨床麻酔	ケタミンの神経保護作用	本田 博之	麻酔科
J Neuroimaging	Three-Dimensional Digital Subtraction Angiography in Evaluation of Vertebro-Basilar Artery Dissections: Comparison with 2D DSA	反町 隆俊	脳神経外科
脳神経外科	造影CTのvolumetric imagingを用いた外側後頭下開頭に対する術前評価法	大石 誠	脳神経外科
脳神経外科	脳神経学におけるト用超高磁場(7T)装置の現状と	藤井 幸彦	脳神経外科
Brain 2009; 132:1810-9.	Depletion of medullary serotonergic neurons in patients with multiple system atrophy who succumbed to sudden death.	Tada M, Kakita A, Toyoshima Y, Onodera O, Ozawa T, Morita T, Nishizawa M, Takahashi H.	神経内科
CLINICAL IMMUNOLOGY, 131: S26-S26 Suppl. S	Phenotypic Features of T Cells Expressing ROR gamma t in Multiple Sclerosis	Kawachi, I; Nishizawa, M	神経内科
Headache. 2009 May;49(5):768-70.	Nasal smatriptan as adjunctive therapy for idiopathic trigeminal neuralgia: report of three	Shimohata K, Shimohata T, Motegi R, Mivashita K.	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2009 Sep;80(9):1050-2	Identification of independent APP locus duplication in Japanese patients with early-onset Alzheimer disease.	Kasuga K, Shimohata T, Nishimura A, Shiga A, Mizuguchi T, Tokunaga J, Ohno T, Miyashita A, Kuwano R, Matsumoto N, Onodera O, Nishizawa M, Ikeuchi T.	神経内科
Mov Disord 2009;24:1096-7.	Megacolon in multiple system atrophy: safety concerns related to PEG.	Tezuka T, Ozawa T, Takado Y, Sato Y, Oyake M, Nishizawa M.	神経内科
Mov Disord 24:1312-8.	(2009) Cerebellar involvement in progressive supranuclear palsy: A clinicopathological study.	Kanazawa M, Shimohata T, Toyoshima Y, Tada M, Kakita A, Morita T, Ozawa T, Takahashi H, Nishizawa M.	神経内科
Mov Disord. 2009 Oct 30;24(14):2163-4.	Cervical dystonia associated with spinocerebellar ataxia type 2 successfully treated with levodopa: a	Kitahara M, Shimohata T, Tokunaga J, Nishizawa M.	神経内科
Mov Disord. 2010 Mar 22.	Tremulous arytoid movements predict severity of glottic stenosis in multiple system atrophy.	Ozawa T, Shinoda H, Tomita M, Shimohata T, Nakayama H, Nishizawa M.	神経内科
MULTIPLE SCLEROSIS, 15 (9): S154-S154 Suppl. S SEP 2009	Homogeneity of pathogenesis and heterogeneity of treatment response through long-term courses of neuromyelitis optica	Kawachi, I; Yanagawa, K; Nishizawa, M	神経内科
NEUROLOGY, 73 (20): 1628-1637 NOV 17 2009	Pathologic and immunologic profiles of a limited form of neuromyelitis optica with myelitis.	Yanagawa, K; Kawachi, I; Toyoshima, Y; Yokoseki, A; Arakawa, M; Hasegawa, A; Ito, T; Kojima, N; Koike, R; Tanaka, K; Kosaka, T; Tan, CF; Kakita, A; Okamoto, K; Tsujita, M; Sakimura, K; Takahashi, H.	神経内科
NEUROLOGY, 74 (9): A169-A169 Suppl. 2 MAR 2 2010	Neuropsychiatric Presentation of Neuromyelitis Optica Spectrum Disorders	Saji, E; Toyoshima, Y; Yanagawa, K; Nishizawa, M; Kawachi, I	神経内科
Anticancer Res 29, 2219-2225, 2009.	Expression of bone morphogenetic proteins in giant cell tumor of bone.	Kudo N., Ogose A., Ariizumi T., Kawashima H., Hotta T., Hatano H., Morita T., Nagata M., Seki Y., Kawai A., Hotta Y., Hoshino M.	顎顔面外科
BONE 44: 699-707, 2009.	A local bone anabolic effect of rhFGF2-impregnated gelatin hydrogel by promoting cell proliferation and coordinatinz osteoblastic	Kodama N., Nagata M., Tabata Y., Ozeki M., Ninomiya T., Takagi R.	顎顔面外科
Br J Oral Maxillofac Surg 47: 407-408, 2009	Placement of mandibular nerve block using computed tomography to locate the foramen ovale in a patient with severe dislocation after segmental	Kodama Y., Seo K., Tanaka R., Arashiyama T., Ajima H., Takagi R	顎顔面外科
Int J Oral Maxillofac Surg 38: 978-983, 2009.	Assessment of 14 functional gene polymorphisms in Japanese patients with oral lichen planus: a pilot case-control study.	Fujita H., Kobayashi T., Tai H., Nagata M., Hoshina H., Nishizawa R., Takagi R., Yoshie H.	顎顔面外科
J Cancer 124: 2911-2916, 2009.	Tetraspanin gene expression levels as potential biomarkers for malignancy of gingival squamous cell carcinoma.	Hirano C., Nagata M., Noman A., Kitamura N., Ohnishi M., Ohyama T., Suzuki K., Yoshizawa K., Izumi N., Fujita H., Takagi R.	顎顔面外科
J Electron Microsc (Tokyo) 58(6):381-392, 2009	FGF23 is mainly synthesized by osteocytes in the regularly distributed osteocytic lacunar canalicular system established after physiological bone	Ubaidus S., Li M., Sultana S., Paulo H.L.F., Oda K., Maeda T., Takagi R., Amizuka N.	顎顔面外科
J Electron Microsc (Tokyo) 8(2):55-65, 2009.	Warfarin administration disrupts the assembly of mineralized nodules in the osteoid.	Amizuka N., Li M., Hara K., Kobayashi M., Paulo H.L.F., Ubaidus S., Oda K., Akivama	顎顔面外科
J Tissue Eng Regen Med 3: 218-229, 2009.	Characterization of human cultured periosteal sheets expressing bone-forming potential: in vitro and in vivo animal studies.	Kawase T., Okuda K., Kogami H., Nakayama H., Nagata M., Nakata K., Yoshie H.	顎顔面外科
Journal of Bone and Mineral Res 24 (9): 1586-1597, 2009	Intermittent PTH administration stimulates pre-osteoblastic proliferation without leading to enhanced bone formation in osteoclast-less c-fos-	Paulo H.L.F., Li M., Ninomiya T., Nakamura M., Ubaidus S., Oda K., Udagawa N., Maeda T., Takagi R., Amizuka N.	顎顔面外科
Nippon Rinsho 67(5):868-71, 2009.	Ultrastructure and biological function of osteocyte.	Amizuka N., Ubaidus S., Paulo H.L.F., Sultana S., Li M.	顎顔面外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Oral Medicine & Pathology 13:151-158, 2009.	The absence of significant mutational events of the p53 gene in the only two salivary gland tumors possessing radiation-related development risks, Mucoepidermoid carcinoma and Warthin tumor.	Abe M., Maruyama S., Yamazaki M., Kobayashi T., Kamal AE., Ahsan MS., Tsuneki M., Saku T., Jun C.	顎顔面外科
口科誌. 59(1):31-35, 2010	両側側頭顔頭術後に生じた開口障害の1例.	山中正文, 福田純一, 児玉泰光, 安島久雄, 池田順行, 高木律男	顎顔面外科
新潟歯学誌. 39(2):53-58, 2009	残留嚢胞摘出と同時に歯の即時移植を行った1例.	安島久雄, 芳澤孝子, 小野和宏, 泉直也, 新美泰恵, 小山貴寛, 菅井登志子, 興地隆史, 齋藤 力, 高木律男	顎顔面外科
新潟歯学誌. 39(1):49-54, 2009.	顎骨折患者の長期臨床統計—過去32年間について—	小山貴寛, 飯田明彦, 児玉泰光, 小林孝憲, 福田純一, 高木律男	顎顔面外科
日口外誌 55(10):490-494, 2009	顔面神経麻痺を初発症状とした高齢者頭部破傷風の1例	西川 敦, 児玉泰光, 下畑孝良, 大貫尚志, 西澤正豊, 高木律男	顎顔面外科
日口外誌. 56(1):40-44, 2010.	睡眠時無呼吸と構音障害を合併した巨大な軟口蓋多形腺腫の1例	大貫尚志, 大西 真, 田辺啓太, 今村麻枝男, 飯田明彦, 高木律男	顎顔面外科
BIOCHEMICAL AND BIOPHYSICAL RESEARCH COMMUNICATIONS	Histone deacetylase inhibitors de-repress tyrosine hydroxylase expression in the olfactory bulb and rostral migratory stream.	秋葉陽介	義歯(冠ブリッジ)診療室
JOURNAL OF NEUROSCIENCE	Differential Regulation of Dopaminergic Gene Expression by Er81	秋葉陽介	義歯(冠ブリッジ)診療室
JOURNAL OF NEUROSCIENCE RESEARCH	gamma-Aminobutyric Acid-Mediated Regulation of the Activity-Dependent Olfactory Bulb Dopaminergic Phenotype	秋葉陽介	義歯(冠ブリッジ)診療室
American Journal of Dentistry	Translucency and color change of tooth-colored temporary coating materials	竹中彰治	歯の診療室
Dental Materials Journal	Morphological analysis of flowable resins after long-term storage or surface polishing with a mini-brush.	韓 臨麟	歯の診療室
International Journal of Dentistry	Reparative dentinogenesis induced by mineral trioxide aggregate: a review from the biological and physicochemical points of view	興地隆史	歯の診療室
歯科審美	新規歯面コーティング材の短期的臨床評価	竹中彰治	歯の診療室
日本歯科保存学雑誌	Vaccine-Induced CD8+T cell-dependent suppression of airway hyperresponsiveness and	韓 臨麟	歯の診療室
日本歯科保存学雑誌	新規フロアブルレジン表面性状観察 —各種ドリル浸漬後の変化—	韓 臨麟	歯の診療室
日本歯科保存学雑誌	水中浸漬されたMineral Trioxide Aggregateの組成変化—表面層部における元素分布の変動—	鞍立桃子	歯の診療室
日本歯内療法学会雑誌	NiTiロータリーファイルを用いたThermafil Plusプラスチックキャリアの除去	早川達也	歯の診療室
日本歯内療法学会雑誌	セルフエッチングタイプレジン系根管用シーラーに関する研究 —硬化体の表面性状, 根管壁処理面, 接着界面および根管封鎖性の観察—	韓 臨麟	歯の診療室
Pediatric Dental Journal	Classification of maxillary canine transpositions in Japanese children: A report of 10 cases	Yo Taguchi, Sachiko Hayashi-Sakai, Futabako Iizawa, Natsuko Numa-Kinoh	小児歯科
Pediatric Dental Journal	Regional odontodysplasia: Long-term observation of the mandibular left side	Yo Taguchi, Futabako Iizawa, Natsuko Numa-Kinoh	小児歯科
日本小児歯科学雑誌	後継永久歯の位置異常を伴う下顎第二乳臼歯埋伏	細川由佳, 松山順子, 田口 洋	小児歯科
Journal of the International Academy of Periodontology	Treatment of human infrabony periodontal defects by grafting human cultured periosteum sheets combined with platelet-rich plasma and porous hydroxyapatite granules	奥田 一博	歯周病診療室
Journal of materials science materials in	Osteogenic activity of human periosteal sheets cultured on salmon collagen-coated ePTFE	奥田 一博	歯周病診療室
Journal of Periodontology	Human periosteum-derived cells combined with superporous hydroxy apatite blocks used as an osteogenic bone substitute for periodontal regenerative regenerative therapy: animal implantation study using nude mice	奥田 一博	歯周病診療室
社団法人日本補綴歯科学会	ガイドライン作成部会 補綴歯科診療ガイドライン 歯の欠損補綴歯科診療ガイドライン2009	小林 博	義歯入れ歯診療室
日本補綴誌	高齢義歯装着者の義歯への満足度に影響する要因について	昆 はるか	義歯入れ歯診療室
日本顎口腔機能雑誌	加速度計を用いた頭位測定装置による歯科治療とデスクワークの頭部姿勢の比較	金子 敏郎	義歯入れ歯診療室
日本口腔インプラント学会	下顎第二大臼歯欠損にインプラント治療を行った1	金田 恒	義歯入れ歯診療室
CRANIO (The journal of craniomandibular practice) 27(4): 261-267, 2009.10月	Unilateral condylar bone deformity and slope of articular eminence related to mandibular asymmetry	Makoto Yahata (八幡 誠), Kzuhiro Yamada, Takafumi Hayashi, Isao Saito	矯正歯科
Euro J Orthod 31 (6): 613-619, 2009, December.	A cross-sectional study on the relationship between oronofacial morphology and the coronoid process	Takahiro Torisu (鳥巢隆弘), Kazuhiro Yamada, Tadao Fukui, Masaki Yamaki, Junichi Nakamura, Isao Saito	矯正歯科
Orthodontic Waves—Japanese Edition 68(3):142-154, 2009.10.25	日本におけるIndex of Orthodontic Treatment Needを用いた不正咬合の疫学調査	渡辺 厚, 毛利 環, 渡邊直子, 渡邊洋平, 宮崎秀夫, 齋藤 功	矯正歯科
日顎変形誌19(4): 193-198, 2009, December.	顔面軟組織形状と歯列石膏模型の三次元データ統合精度の検討	小原彰浩, 寺田員人, 松原大樹, 越知佳奈子, 齋藤 力, 齋藤 功	矯正歯科
Clinical Engineering	手術部における医療機器保守管理の外注化	堀田哲夫	手術部
Monthly Book Orthopaedic	筋肉内血管腫の新しい手術手技	堀田哲夫, 生越 章, 有海明央, 川島寛之, 有泉尚志	手術部
医療福祉建築	現代手術部の設備、構造、機能の問題点とその解	堀田哲夫	手術部
Aust N Z J Obstet Gynaecol. 2009; 49: 137-	Antibody responses to Porphyromonas gingivalis outer membrane protein in the first trimester.	Sasahara J	総合周産期母子医療センター
J Obstet Gynaecol Res. 2009; 35: 593-596.	Abscess formation due to Mycoplasma hominis infection after cesarean section.	Yamaguchi M	総合周産期母子医療センター

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Prenat Diagn. 2009; 29: 1078-1080	Prenatal diagnosis of fetal arachnoid cyst of the quadrigeminal cistern in ultrasonography and MRI.	Haino K	総合周産期母子医療センター
Prenat Diagn. 2009; 29: 707-709.	Prenatal diagnosis of unilateral pulmonary agenesis in a pregnant woman undergoing chronic hemodialysis due to chronic renal failure.	Nonaka T.	総合周産期母子医療センター
Reprod Immunol Biol. 2009; 24: 18-20	A case of neonatal alloimmune thrombocytopenia from human platelet antigen 5b incompatibility.	Serikawa T.	総合周産期母子医療センター
メジカルビュー 東京 2010, 3: 192-193.	新生児の救急治療. 講義録 産科婦人科学	和田雅樹	総合周産期母子医療センター
医学書院 東京 2010, 1; 1109-1110	ソケイヘルニア、臍ヘルニア. 今日の治療指針2010年版-私はこう治療している	和田雅樹	総合周産期母子医療センター
化学療法の領域 2009; 25: 2082-2086	インフルエンザ流行時における妊婦への対応	高桑好一	総合周産期母子医療センター
産科と婦人科 2009; 76: 1129-1131	産婦人科診療私のコツ 子宮内反症	高桑好一	総合周産期母子医療センター
産科と婦人科 2009; 76: 1279-1283	妊娠20週前後に胎児発育不全および羊水過少を指摘されるも妊娠継続し生児を得た2症例	甲田有嘉子	総合周産期母子医療センター
産科と婦人科 2009; 76: 875-878	治療に難渋したITP合併妊娠の1例	市川香也	総合周産期母子医療センター
産婦人科治療 2009; 98: 86-92	周産期 反復流産の病態と対策 習慣流産に対する免疫療法の最近の考え方	高桑好一	総合周産期母子医療センター
周産期医学 2009; 39: 745-749	歯周病	高桑好一	総合周産期母子医療センター
周産期医学, 40, 1, 2010, 1; 75-78	蘇生(NCPR)	和田雅樹	総合周産期母子医療センター
小児科診療2009年増刊号 小児の症候群, 診断と治療社, 東京, 243, 2009, 4	Swyer-James症候群	斉藤朋子	総合周産期母子医療センター
小児科臨床 第62巻 第1号, 47-50, 2009, 4	先天性疾患を有する児に合併した肥厚性幽門狹窄症の2例	榊原清一	総合周産期母子医療センター
新潟県医師会報 2009; 717: 2-7	自己免疫的観点からみた妊娠高血圧症候群の発症と予防に関する考察	高桑好一	総合周産期母子医療センター
腎と透析 2009; 67: 651-655	抗リン脂質抗体陽性不育症に体する治療に関する考察	高桑好一	総合周産期母子医療センター
腎と透析 2009; 67: 671-656	妊娠高血圧症候群の重症蛋白尿の取り扱いに関する検討	沼田雅裕	総合周産期母子医療センター
日本産科婦人科学会新潟地方部会誌 2009; 101	当院における妊初期Nuchal translucency(NT)に体する遺伝カウンセリング症例の検討	生野寿史	総合周産期母子医療センター
日本周産期新生児医学会誌 2009; 45: 810-814	当科における嚥食性腎奇形および腎無形成出生前診断症例の検討	生野寿史	総合周産期母子医療センター
日本臨床 2009; 67増刊号: 139-142	構造異常 子宮奇形(癒痕子宮を含む)	高桑好一	総合周産期母子医療センター
European Journal of Human Genetics	GAB2 is not associated with late-onset Alzheimer's disease in Japanese.	Miyashita A	医療情報部
Journal of Gastroenterology and Hepatology	Predictors of microscopic portal vein invasion by hepatocellular carcinoma: measurement of portal perfusion defect area ratio.	Shirabe K	医療情報部
Lifetime Data Analysis	Estimating the case fatality rate using a constant cure-death hazard ratio.	Chen Z	医療情報部
Psychiatry and Clinical Neurosciences	Influence on the suicide rate two years after a devastating disaster: a report from the 1995 Great Hanshin-Awaji Earthquake.	Nishio A	医療情報部
The Tohoku Journal of Experimental Medicine	Serum hepcidin-20 is elevated during the acute phase of myocardial infarction.	Suzuki H	医療情報部
アレルギー	成人発症喘息の女性の発症年齢は上昇傾向にある	月岡一治	医療情報部
日本小児アレルギー学会誌	報告 日本の気管支喘息の年齢別, 性別, 都道府県別罹患者数の分布	月岡一治	医療情報部
Journal of Dental Research	Genetic risk factors for periodontitis in a Japanese population	Tetsuo Kobayashi	歯科総合診療部
Journal of Periodontal Research	Periodontitis associated up-regulation of systemic inflammatory mediator level may increase the risk of coronary heart disease.	Takako Nakajima	歯科総合診療部
Journal of Periodontology	Cytokine gene polymorphisms associated with rheumatoid arthritis and periodontitis in Japanese	Tetsuo Kobayashi	歯科総合診療部
Odontology	Periodontal disease and risk of atherosclerotic coronary heart disease.	Takako Nakajima	歯科総合診療部
Eur Neurol	Relationship between Tongue Pressure and Dysphagia in Stroke Patients.	Hori K	摂食・嚥下機能回復部
Sensors	Recent Advances in Sensing Oropharyngeal Swallowing Function in Japan	Hori K	摂食・嚥下機能回復部
顎顔面補綴	下顎・舌・口底腫瘍術後患者の術後の嚥下能力の回復に影響を及ぼす因子	堀 一浩	摂食・嚥下機能回復部
神経治療学	多系統萎縮症における嚥下障害	大瀧祥子	摂食・嚥下機能回復部
Journal of vascular research	Porphyromonas gingivalis Antigens and Interleukin-6 Stimulate the Production of Monocyte Chemoattractant Protein-1 via the Upregulation of Early Growth Response-1 Transcription in Human Coronary Artery Endothelial Cells.	T. Maekawa et al.	お口の健康室
新潟歯学会誌, 39(2), 1~15, 2009年	総説 変色歯治療の過去・現在・未来	福島正義	お口の健康室
老年歯科医学, 23(4), 384~396, 2009.	高齢者の口腔機能の評価と管理のシステム化に関する研究 第1報 自立者の総合的な検査法, 改善法, 効果の評価法について	武井典子, 藤本篤子, 木本恵美子, 竹中彰治, 福島正義, 奥瀬敏之, 岩久正明, 石川正夫, 高田康二	お口の健康室

計272人

注1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

注2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	新潟大学医歯学総合病院長	内山 聖
管理担当者氏名	新潟大学医歯学総合病院事務部長	白澤 芳朗

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		(医) 病歴管理室 フィルム管理室 電算機室 (歯) 医事課事務室	1患者につき1カルテ番号方式 外来・・・紙媒体 入院・・・電子媒体(1部紙媒体)
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	/
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	医事課	
	閲覧実績	医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	地域医療保険推進部	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課		
第規一則号第一に掲げる十一の体制第一の確保各号及び第九の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	/
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染管理部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染管理部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学部門
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部門
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部門		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部門		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 内山 聖
閲覧担当者氏名	総務課長 吉澤 初記
閲覧の求めに応じる場所	管理棟大会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	77.6%	算定期間	平成21年 4月 1日～平成22年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	13,233人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	8,781人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	2,734人	
	D: 初診の患者の数	21,505人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・指針の主な内容： ・医療安全管理に係る病院の基本方針 ・医療安全管理に係る各委員会等の業務と権限 ・医療事故発生時の対応およびインシデント・医療事故の報告方法について ・各種医療安全管理マニュアル，他	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・活動の主な内容： ・医療事故の防止対策に関すること ・医療事故の防止に係る教育および研修に関すること ・医療事故の防止マニュアルに関すること，他	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 7 回
・研修の主な内容： ・「膀胱留置カテーテルのトラブルシューティング」 「人工呼吸器中央管理について」 「人工呼吸器マニュアルの改訂について」 ・「経腸栄養は安全か？-チューブ管理etc.」 「当院のハイリスク薬について」 「麻薬の取り扱いについて」 ・「院内の暴言・暴力への対応について」 「暴力への対応について，－実践編－」 ・「全職員で取り組む医療安全 ～組織的弱点を補う”組織的知恵”～」 ・「医療事故から何を学ぶか－原因究明の重要性と課題－」，他	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・その他の改善のための方策の主な内容： ・院内で発生したインシデント・医療事故のインシデントレポートによる報告と情報収集 ・医療事故事例の医療事故防止委員会での報告，改善策の立案と実施，改善状況の検証 ・重大事故発生時には速やかに管理者に報告するための体制整備 ・医療事故対策委員会，(調査専門委員会)における事例分析，再発防止の検討，他	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2 名) ・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名) ・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (27) 名 ・活動の主な内容：医療安全管理対策と患者の安全確保を推進するため，医療安全管理部を設置している。主な活動は下記の通り。 ・医療事故およびインシデントに係る情報の収集・分析・提供 ・医療の安全管理に係る教育と研修，部署リスクマネージャーとの連携 ・医療事故発生時の対応に係る指導と状況確認 ・医療に係る安全管理のための委員会 (医療事故防止委員会) の運営，他	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・常に良質な医療の提供にあたって、院内感染防止に努めること。・当院における感染症の新たな発症や集団発生を防ぐ体制を確保するために、病院全体の名代として感染対策に取り組み、すべての職員がその必要性を認識し自ら率先して実践していくこと・医療の質の向上と医療経済の改善に寄与すること	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 13 回
<p>・活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・院内感染対策指針及び院内感染対策のマニュアルに関する事・院内感染の予防対策に関する事・院内感染発生時の対応及び改善策に関する事・院内感染対策に係る情報の収集および医療従事者への周知に関する事・院内感染対策に係る教育及び研修に関する事・院内感染対策の実施状況の評価に関する事・その他院内感染対策に関する事	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 6 回
<p>・研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・「当院における新型インフルエンザ対応」・「歯科における院内感染対策ガイドラインの解説」・「H I V 医療の変遷と医療従事者に望むこと」・「標準予防策における有効な個人防具の使用について」・「新型インフルエンザの現状と対策」，他	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・耐性菌，人工呼吸器関連肺炎，手指消毒薬の払い出し状況，抗菌薬の使用状況等のサーベイランスを実施・サーベイランス情報を活用した病棟ラウンドの実施（情報の共有と改善のためのディスカッション）・細菌検査や感染症迅速検査の結果の連絡体制を整備し迅速な感染防止対策を実施・院内感染対策基本マニュアルの改訂	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>「麻薬の取扱いについて」（同一内容で2回実施） 「処方オーダーとリスクマネジメント」</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>H21年12月手順書全面改定：詳細を定める各マニュアルを参照せず、各項目の手順を記載。 この手順書に基づき作成した業務チェックリストにより各部門で、自己チェックを行い、順守されない業務については、改善指導を行う。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>薬剤情報ステーションVol. 15 No. 5～Vol. 16 No. 4 (2ヶ月毎に発刊) 安全の扉 「アレピアチンも横紋筋融解症にご注意を」「医療事故防止に名称変更!!」 「薬袋の商品名の後の数字、服用量じゃないよ!!」「コデイン類を服用中の授乳はダメです!」 「肝炎患者への投与の注意！メトトレキサート製剤」「低血糖に注意！選択的DDP-4阻害剤とSU剤の併用」</p>	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 3.9回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：・ 人工心肺装置・補助循環装置の使用説明・ 人工呼吸器の安全使用説明・ 持続的血液ろ過装置の使用とメンテナンスに関して・ 除細動装置の取り扱い・ 閉鎖式保育器・ シリンジポンプ・ 自己血回収装置・ 心電計・ 生体監視モニター・ 手術用顕微鏡・ 麻酔器・ 赤外線組織酸素モニター	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 計画の策定 (有・無)・ 保守点検の主な内容：	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：	